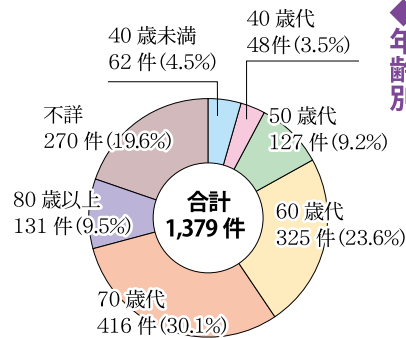
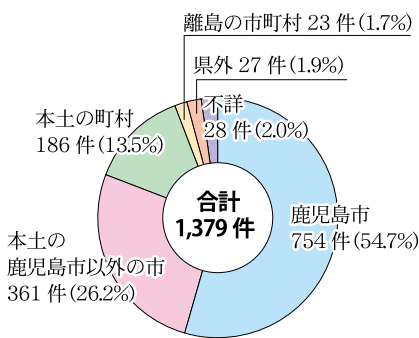


◆年齢別



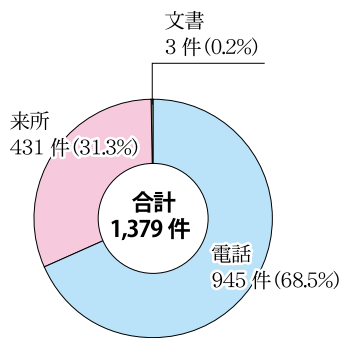
相談件数は70歳代、60歳代、80歳以上の順となっております。50歳代以下の相談は、親や祖母などの高齢者に関する相談がほとんどです。

◆地区別



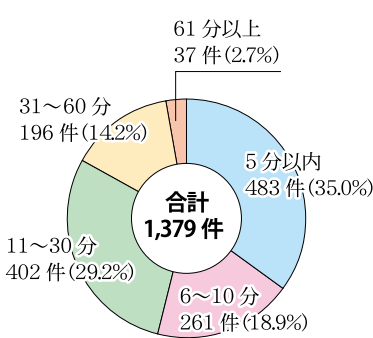
鹿児島市が754件で最も多く、鹿児島市を含む本土の市町で9割以上を占めています。なお、離島から23件、県外からも27件の相談がありました。

◆相談方法別



電話による相談が945件で約7割となっておりますが、来所しての面接相談も431件ありました。来所相談の多くは福祉機器、法律相談に関するものです。

◆相談時間別



最も多いのは5分以内の483件で、次いで11~30分が402件、6~10分が261件となっており、8割以上は30分以内の相談でした。なお、30分を超える相談も31~60分が196件、61分以上が37件となっております。

あなたのまちのアクティブシニア

川東見守り隊（鹿屋市）

「川東見守り隊」の発足は平成24年11月1日、鹿屋市の東に位置する川東集落で活動しています。見守り隊の協力者は26名で65歳以上が23名、全体の9割を占めています。見守りの対象者は現在41名で、主に独居高齢者で家族が近くにいない人となっております。活動は、自分たちができることを、できる範囲で行うこととし、協力者がそれぞれ月2回見守り活動を実施しています。



〈連絡先〉 久木田 三郎
☎090-1790-6845

活動の内容は、①在宅か否かが限定的者だけにわかる用具を用いた安否の確認②話し相手③簡易な作業④美化活動⑤イベント見学の送迎⑥定例会議の開催などとなっております。美化活動は、校区内の通学路の除草作業や四季に応じた花の植え付け、イベント見学の送迎は、夏祭りや敬老会、そば打ち大会などのイベントだけでなく、病院や買い物送迎もしています。定例会議は3ヶ月に1回、協力者全員が出席して、見守り対象者の現況報告や情報交換などを行っています。



一方、7年目となる活動のマンネリ化を防ぐための方策は、①見守りの頻度は自己ペースでやる②体験の発表や他組織の活動例などを交えた定例会議の工夫③協力者の仲間意識の醸成を図るための慰労会の開催などです。慰労会は年1回、カラオケあり、余興ありの宴会で、全員で仲間意識を確認し合う良き場となっております。「目立たないけど黙って頑張る。」これこそボランティア精神ではないかと思えます。我々「川東見守り隊」は連携を密にし、知り得た情報等は共有しても他人には漏らさない。常に身近な相談相手、見守り役に徹する。「頑張ろう」と意気込むのではなく、いつものように力を抜いて、これからもずっと活動を続けていきたいと思っています。

このコーナーではすこやか長寿社会運動を实践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。